

令和5年度始業式 式辞

新学期が始まりました。

今日は論語「学びて思わざれば則ち罔し」についてはなします。有名なので聞いたことがある人も多いでしょう。

子曰く、学びて思わざれば則ち罔し（くらし）、思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし）。

孔子は言った。「知識を身につけても、自分でそれについてよく考えなければ、本当に理解することはできない。ひとりで考えるだけで、広い知識を身につけようとしなければ、独断に陥る危険がある」

高等学校でみなさんはたくさんの知識を身につけます。でも、知識をつなげて、新しい課題に取り組んで初めて生きた知識にすることができる。知識は よく考える下地です。

一方で考えるばかりだと独断に陥って危ない。

例えば、みなさんはシラミを知っていますか？身体から血を吸って生きている。このシラミのうちのコロモジラミという種類のシラミが病気を媒介することが、今は知識としてわかっています。でも、ケジラミは病気を媒介しない。しないけれども、シラミから病気がうつるとか、汚いとか差別がおこってしまう。知識がないからです。

病気の原因がわからない時代にもいろいろ考える。まずよく観察するわけです。すると、元気な人にはシラミが喜んでくっつくが、高熱にうなされた死の間際の人からシラミが逃げていく。そうか、シラミをつければ元気になるんだ！一生懸命考えている。観察もしている。でも、知識が不足している。知識を得たうえで考えることが本当に重要なのです。

どうぞみなさん学んでください。そして考えてください。答えのない現実の問題に、真剣に向き合ってください。友人と、先生と話をしてください。耳を目を周囲に向けてください。学びを広げる、深めると言うことは、知っているつもり、わかっているつもりのことを、周囲の人と議論しながら学ぶことではないかと思うのです。

1年生は高校で何をしたいと思っていますか？3年間はあっという間です。うかうかせずに、真剣に学校生活に向き合ってください。2年生は、1年前を思い出してください。もう半分が過ぎようとしています。もう一度最初の気持ちを思い出しましょう。3年生の高校生活はあと一年ありません。早い人は夏には受験・出願が始まります。

弘前中央高校での高校生活で自分の成長に向けて挑戦して下さい。挑戦とは「できないかもしれない」ことにあえて立ち向かうことです。時間はありません。今、すぐに始めなければなりません。自分の挑戦だけでなく、友達の挑戦を応援して下さい。時間と戦いながら、挑戦し続ける1年であって欲しいと思います。

令和五年四月十日